

「エコテックス (CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム」 第二回

発行：「エコテックス (CSM[®]-2000) 標準研究フォーラム」 広報委員会

〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-14-7 山形ビル3階

TEL 03 (3504) 9800 FAX 03(5157) 3180

E-mail eco-texj@k9.dion.ne.jp

URL: eco-tex.com.

2003年

7月4日

第8回『セミナー』のご案内

日時：7月24日（木曜日）午後2時～6時（5時から懇親会）

場所：エコテック・ジャパン株式会社

今回は、《小売業界の CoC：取引行動規範》をメインに進めたいと思っております。

御挨拶	2:00～2:10
1 小売業界のCoCビデオ	2:10～2:50
休憩	2:50～3:10
2 小売業界のCoCの説明	3:10～4:30
3 事務局より報告	4:30～5:00
最近の情報 「研究評価委員会」の報告 その他	
懇親会	5:00～6:00

第1回『研究評価委員会』を開催します

日時：7月24日（木曜日） 12時～13時30分

場所：エコテック・ジャパン株式会社

御参加頂く委員（会社・団体）

敬称略

IWSノミニコンパニーリミテッド日本支社、株式会社エドウィン商事
尾崎商事株式会社、株式会社オンワード樫山、グンゼ株式会社、小松精練株式会社、
株式会社消費科学研究所、株式会社ゴールドウインテクニカルセンター、JUKI株
式会社、杉野服飾大学、株式会社ダイドーリミテッド、東レ株式会社、財団法人日本
化学繊維検査協会、藤井毛織株式会社、株式会社フジックス
尚、昼食は、事務局で用意させていただきます。

恐れ入りますが、『セミナー』、『研究評価委員会』ご出席の方のお名前を

16日(水曜日)までに事務局にお知らせ下さい。

ご協力をお願い申し上げます。

今回の企業紹介は、日本バイリーン株式会社様です。



日本バイリーン株式会社

■本社：東京都千代田区外神田二丁目14-5(〒101-8614)

電話：03-3258-3333(代) FAX：03-3258-3325(代)

上場：東証1部(証券コード：3514)

<http://www.vilene.co.jp/>

■不織布のトップブランド

1960(昭和35)年6月、大日本インキ化学工業(株)、独・フロイデンベルグ社、東レ(株)3社による「日独合弁の不織布専門メーカー」として創業。以来、常にリーディングカンパニーとして不織布の研究開発・用途開発を推進し、わが国不織布産業の最大手(世界で第10位、ちなみに第1位はフロイデンベルグ社)として今日にいたる。

現在「衣料資材」「自動車資材」「空調資材」「メディカル&コンシューマー資材」「工業資材」「電気資材」の6つの事業領域で広範な事業活動を展開している。

■暮らしの中のソフト材料革命

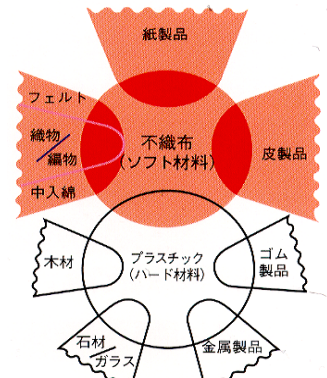
英語表記「Nonwoven Fabrics」を直訳した不織布は、文字どおり織ったり編んだりせずに、ファイバーを絡め結合させてつくる。ポーラス(多孔質)な構造をもち、布状・わた状・紙状・皮状など自由な形状に仕上げることができる。

また、ろ過性・保温性・保水性などの基本性能に加え、原料の選定と製法の組み合わせで、目的に合わせた機能を付与することができる。これこそ不織布の最大の特徴と言える。

このフレキシブルな特性から、「芯地」「中入れわた」などのアパレル資材をはじめ、「自動車用内装材料」、

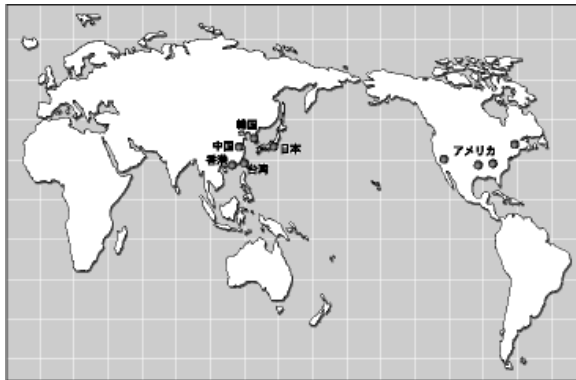
「エアフィルタ材料」、「医療用材料」、「各種マスク」、「ホスピタル用品」、「情報・音響機器材料」「工業用プロセス材料」、「生活資材」、「電池用材料」などあらゆる分野で使われている。目に触れる機会こそ少ないが、不織布は身の回りの暮らしの中でしっかりと息づいている。

このように、かつてプラスチックが従来のハードな素材にとって替わったように、不織布はファブリック・ペーパー・レザーなどの分野で「ソフトな材料革命」を推進している。



■グローバルな事業展開

ほとんどの産業で「海外への生産シフト」が進行する中、日本バイリーンはすでに20年前、衣料資材の販売会社を香港に、また自動車用フロアマットの生産会社を米国（カリフォルニア）に設立。いち早くグローバル対応を図った。現在では、東アジア地域には、中国・台湾・韓国に衣料資材の生産会社をもち、香港の販売会社を通じて良質な衣料資材を供給している。一方、米国内では現在自動車用フロアマット生産で2拠点、同じく天井材生産で2拠点が、それぞれ日系自動車メーカーやビッグスリーの需要に対応している。



■グループ経営力の強化

国内の生産拠点は、滋賀工場（滋賀県守山市）と東京工場（茨城県総和町）の二つ。前者は主に衣料資材と自動車資材、後者は主にメディカル&コンシューマー資材、電気資材、空調資材、工業資材を扱っている。この両工場で年間約1億6千万mの不織布を生産している。この他、100%出資の子会社でガラス繊維不織布の生産会社や、高付加価値化のための加工会社、またPET再生繊維生産会社をもち、それぞれ特徴ある製品を供給している。

一方、前述の海外生産拠点のうち、中国（蘇州）では一部エアフィルタの加工をはじめているほか、2002年には日本バイリーン上海駐在員事務所を設立し、電池資材の現地フォローや産業用途展開のためのFS調査を行っている。これらは、いずれもユーザーニーズに基づくマーケティング戦略であり、適地生産・販売体制構築による「グループ経営力強化」の一環である。



滋賀工場



東京工場



東京研究所

《衣料資材本部》

- 東京／東京都千代田区外神田 2-14-5
バイリーンビル 〒101-8614
Tel. 03-3258-3361
- 大阪／大阪府大阪市中央区久太郎町 3-5-19
大阪ディックビル9F 〒541-0056
Tel. 06-6120-3202
- 名古屋／愛知県名古屋市中区栄 2-2-12
NUP 伏見ビル4F 〒460-0008
Tel. 052-203-1491
- 岐阜／岐阜県岐阜市真砂町 12-6